

## 全日本還暦アップカップ 競技規定

### 1. 競技内容

当日の競技はその日の条件によって実行委員長や大会委員長、大会参加者たちと話し合っ  
て決定する。

以下は得点の計算方法である。

#### ○ターゲット

- (ア) 最初に身体の一部が接地してから安全に停止するまでの全軌跡中最もターゲットから離  
れた点と、ターゲット間の距離を計測する。
- (イ) ターゲット得点は 1000 点満点、1 cm 1 点の減点方式。30m以上は 0 点。
- (ウ) 身体や機体を損傷した場合は 0 点。
- (エ) (ウ) 以外は減点なし。

#### ○セットタイム

- (ア) テイクオフ前にスタッフに予定フライト時間を申告し、実際のフライト時間との差が小さ  
くなるのを競う。
- (イ) フライト時間はスタッフが測る。
- (ウ) セットタイムの上限時間は競技委員長にて決定し、競技説明時に発表する。
- (エ) セットタイムの上限を超えてフライトしていた場合は 50 %減点。
- (オ) 予定フライト時間が長いほど、実際のフライト時間との差による減点を小さくする係数  
 $1/C_{LF}$  掛け、途中計算する。

$$P_m = \Delta T / C_{LF}$$

ここで、 $\Delta T = (\text{予定フライト時間} - \text{実際のフライト時間})$ 、 $C_{LF}$ は予定フライト時間が長い  
ものほど大きな値となる係数である。予定フライト時間と $C_{LF}$ のを表 1 に示す。

表 1. 予定フライト時間と係数 CLF 対応表

時間	8分未満	8~10分	11~15分	16分以上
係数 $C_{LF}$	0.8	1	1.5	$1.5 + 0.03n$ ※ $n = \text{予定フライト時間} - 15$

- (カ) セットタイム得点も 1000 点満点とし、最終得点は以下のように求める。

$$P = 1000 \times \left( \frac{P_m}{P_{mmax}} \right)$$

ここで、 $P$  は得点、 $P_{mmax}$  は全体の最高得点である。

## 2. 一般

- (ア) 参加者（外国籍の選手を含む）は大会期間中有効な JHF フライヤー会員登録をしていること。
- (イ) フライトはすべて選手個人の責任において行うこと。
- (ウ) 選手は心身ともに競技ができる健全な状態であること。
- (エ) 大会主催者は理由を明記し、参加希望者を拒否することができる。
- (オ) フライトは使用機材の運用限界内で行うこと。
- (カ) 電線、建造物、人混み等の上空は危険を回避できる高度を持って飛行すること。
- (キ) 雲中飛行は禁止とし、競技役員および他の選手によって監視されること。
- (ク) 雲中飛行とは、機体の一部またはパイロットが、雲により第三者の視界から消えた時のことで、多くの選手が雲中飛行をした場合、競技委員長は競技を中止する場合がある。
- (ケ) 参加者は安全確認の報告を決められた時間内に行うこと。
- (コ) フライトに支障をきたす薬物やアルコールを摂取してフライトをしてはならない。

## 3. 競技の中止と中断

- (ア) 一旦競技が開始されても気象条件の急変等、選手の安全が確保されない場合、その競技をキャンセルまたは中断する。
- (イ) その場合、フライト中の選手にはランディング場などで赤旗等を振ることによって知らせるか、無線機によって連絡を行う。連絡を受けた選手は、速やかにランディングすること。

## 4. リフライト

- (ア) リフライトは何度してもよい。
- (イ) リフライトする選手は必ずハーネスとグライダーの片付けを終了させ、リフライト申告をすること。
- (ウ) 得点は最終フライトの得点とする。
- (エ) ただし、リフライトに制限を設ける場合がある。

## 5. テイクオフ

- (ア) テイクオフ前に必ずスタッフにセットタイムを伝えること。

## 6. ランディング

- (ア) ランディング場は地図に示したエリアをいう。指定のランディング場以外に着地した場合をアウトランディングといい、アウトランディングは採点対象外とする。

## 7. タスク、大会の成立条件

### (ア) タスクの成立

選手全員がテイクオフするだけの時間（参加人数×4 分程度）テイクオフ・ウィンドウが開いていた場合。

### (イ) 大会の成立

大会の成立条件は、次の 2 項目(I、II)が共に達成されたときである。

- I. タスクが少なくとも 1 本は成立する。
- II. 出場者数が 10 人以上である。

## 8. 時間計測

(ア) 飛行時間はテイクオフからランディングまでを計測し、秒単位とする。

(イ) テイクオフ時刻：選手の両足がランチャー台(地面)から離れた時とする。

(ウ) ランディング時刻：選手が安全にインサイドランディングした時とする。タスクフィニッシュ時刻を過ぎてからランディングした場合は、タスクフィニッシュ時刻をランディング時刻とする。

## 9. フリーフライト

(ア) フリーフライトは競技の邪魔にならない程度ですること。